

実名詞ノ單複ニ就テ

実名詞カニノ類ノ内ニ見ハル、人ヤ或事カ一般ニ取ラレ或同ニ種類ノ多ク

考目サハル、度ニ從テニツノ教ノ内ニ見ハル、最初ノ者ヲ人カ單稱トシ

ツケ終ノ者ヲ複稱トシ名付ル

複稱カ通例、單稱ノ跡ノ二ト云字ヤ或エト云字ヤ及スト云字ノ跡加ニ因

テ形造ラル

夫ハ單稱ニ於テオホカナルエト云字ノ上ニ終ル所ノ詞カ複稱ニ於テ通例

ト云字ヲ自分ノ跡ニ取ル、則、終リ、好ミ、信用、考、等、エ、イ、デ、ハ、

ヘ、ゲ、ル、テ、等、カラ、或、人、カ、此、詞、ニ、於、テ、ヤ、モ、ス、レ、ハ、ス、ト、云、字、ヲ、二、ト、云、字、ノ、跡、

ニ、加、ル、則、エ、ニ、デ、ニ、ス、ベ、ゲ、ル、テ、ニ、ス、然、シ、テ、カ、ラ、此、ノ、用、ヒ、ラ、擇、ヒ、退、ラ、ル、

有、心、複、稱、ノ、二、ノ、徴、候、ノ、益、益、ノ、組、立、ヲ、合、ム、ト、シ、テ、擇、ヒ、退、ラ、ル、ベ、ク、

有、リ、

複音ノ上ニ終ル詞カ複稱ニ於テ多分エト云字ヲ自分ノ跡ニ持ツ、則、

書物、人、倚子、女、實リ、等、ブ、リ、メ、ニ、ス、フ、リ、フ、ト、カ、ラ、

凡、実、名、詞、ニ、於、テ、複、稱、カ、ス、ト、云、字、ノ、跡、加、ニ、因、テ、バ、カ、リ、形、造、ラ、ル、取、分、夫、

稱ニ於テエト云字ノ上ニ終ル所ノキーニ於テ形造ラレ、並又示小名詞ニ於テ

形造ラレ、則、諸満之、願望、小男、矮婦、小杜、等、

他ノ実名詞カ已ノ複稱ヲ、二様ノ仕方ニテ形造ル、則、ニス及ニ子ノ男ト

云字カラブオニス及ブオ子ニ息男ト云字カラブル、ル、ス、及、ブ、ル、デ、レ、ル、凡、

ト云字カラハ、ル、デ、ル、ス、及、ト、ル、デ、レ、ル、又、ト、云、字、カ、ラ、フ、ル、ペ、ル、ス、及、ア、ッ、ペ、レ、ル、

ト云字カ、ル、ペ、ル、ス、及、シ、ケ、ル、ペ、ル、シ、造、物、ト、云、字、カ、ラ、フ、等、

終リニ其所ニ実名詞カアル夫ハ複稱ニ於テ已ノ規則ニ依リ、諸尾ニ添テ、

スヤ或ハ、レ、ニ、ト、云、字、ノ、キ、イ、ニ、ラ、取、ル、所、ノ、実、名、詞、カ、アル、或、ハ、只、ニ、又、終、リ、ノ、諸、尾、

ヲ、持、ツ、所、ノ、実、名、詞、カ、アル、則、ホ、ル、ケ、ニ、及、ホ、ル、ケ、レ、シ、民、ト、云、字、カ、ラ、ブ、ラ、ー、デ、シ、及、ブ、

ズス或ブライデレニ ブライド 葉ト云字カラベア子及ベニ バニ 惹ス或ベニ ベニ デレニ 骨ト云字カラ
キニ キニ テルス或キニ キニ 然シト云字カラリニ リニ デルス或リニ リニ デレニ 牛ト云字カラ 等
此ノ 此ノ 詞ノ 詞ノ 事ニ 事ニ 近 然シト云字カラ 然シト云字カラ 此ノ 華カ目ヲ付ラレ子ハナラヌ エルスヤ及 近 近
ノ ノ 彼ノ 彼ノ 複称カ 規則 規則立テ 當時 當時用ヒラルベキ 單称 單称カラ来ラヌ 然シト云字カラ
近 近 ト云字ノ上ニ 古ヒタル 單称 單称 カラ来ルト云事カ目ヲ付ラレ子ハナラヌ
夫故ニ ブライデルス ブライデレニ キニ デルス キニ デレニ ベル デルス ベイ シデレニ
リニ リニ デルスカ え 来用ヒラレザル 單称 單称ニ 近 属スル ブライデレ キニ キニ デル ベイ シデレニ
リニ リニ デル 等

有 有 実名詞カ 單称 單称ニ テ テ テ 用ヒラレ 他ノ 他ノ者 再 再ニ 複称 複称カ 用 用ヒラレ
最初ノ 者 者ニ 近 近 多ノ 多ノ他ノ 者 者ノ 中 中ニ 押 押柄 望 望 等 等 九 九 詞 詞カ 属 属スル 終 終
者 近 近 先 先祖 等 等 兄弟 兄弟 分 分 雜 雜費 等 等 九 九 詞 詞カ 属 属スル
新 新 格 格

実名詞カ 近 近ノ 関係 関係ニ 於 於テ 或 又 他ノ 他ノ 詞 詞ニ 近 近ノ 関係 関係ニ 於 於テ 来 来ル 時 時 我 我ノ 詞 詞
同 同 於 テ 多ノ 他ノ 他ノ 國 國 辞 辞ニ 於 於テ ノ 通リ ニ 様 ニ 彼ノ 語 語尾ニ 於 於テ ノ 有ル 変 変化 則 則 属 属
受 受 ル 夫 夫ニ 依 依テ 此 此ノ 関係 関係ヲ 見 見ル 所 所ノ 彼 彼ノ 語 語尾ニ 於 於テ ノ 変 化 化 則 則 属 属
此ノ 変 変化 カ 格 ト 名 付 付ラル

一本 立 立ニ 考 考ル 時 時 我 我ノ 実 実名 詞 詞カ 元 来 唯 唯 ニ 一 ツ ノ 如 如此 変 変化 ラ 則 ス ト 云 云 字 字 ヤ 或
一 エ 一 ト 云 云 字 字 ノ 加 ニ 依 テ 持 ツ ニ 一 ツ カ ラ 所 所謂 生 生格 則 則 弟 弟 ニ 格 ノ 見 ル ニ 近 用 用 立 立
テ 而 夫 故 故ニ 実 実 ニ 同 シ 格 ノ 一 ツ ノ 異 ナ ウ タ ル 形 造 テ ラ ハ ナ サ ヌ ス ヤ 或 エ ニ 一 ツ ノ 加 ニ 因
テ 持 ツ 人 人 カ 夫 ヲ ホ シ テ ル ス 哀 キ 劇 場 君 ノ 法 令 男 ノ 生 生 及 多 ノ
如此 言 言 出 出 シ ニ 於 テ 目 目 ヲ 付 付ル ス ト 云 云 字 字 カ 夫 ハ 當 時 通 例 男 性 ヤ 或 中 性 ノ

実名詞ニ 於 於テ バ かり 用 用 セ ラル 所 所 ノ ス ト 云 云 字 字 カ 昔 ハ 女 性 ニ 近 モ 属 セ シ ル
一 ノ 背 像 姉 妹 ノ 娘 カ ラ 並 ニ 街 ノ 門 日 館 等 ル 組 立 ノ 詞 カ ラ 明 カ ル 通 リ
二 女 性 ニ 近 モ 又 属 ス ル

多ノ屈曲ニ向テト云字ヤ等ニ冠詞カ受レバク有ル夫ハ多分我ノ実名詞ノ前
ニ置カレ所ノ冠詞ハ向テ受レバク有ル彼カ夫故ニ天ハ是時ニ於テ終リ
名付ラレタル者ニ願フ所ノ者ハ満ニ違スル而格ヲ指シ示ス其中ニ
名詞カ文章ノ結付ニ從テ見ハレハナラヌ所ノ格ヲ指シ示ス
夫ノ変化ノ上ニ実名詞ノ格ノ結付ニ於テ格ヲ有ル時人カ我ノ同格ニ於テ
格ヲ區別シ得ル夫レニ我カ好ニテ第一格第二格第三格及第四格ノ
名ヲ異ル所ヲ區別シ得ル通例人カ羅匈人ノ真似ニテ六ノ格區別
セシ而夫ヲ彼ノ例ニテ主格ゲニキス格ゲニキス使格ゲニキス呼格ゲニキス及奪格ト名
付レ然レカヲ羅匈人カ此ノ區別ニ向テ善キ道理ヲ持シ如何トナレハ彼
ノ実名詞カ實ニ六ノ屈曲ニ向テ受ラレバク有レ故ニ善キ道理ヲ持テ我
カ夫ニ及テテ勢カヲ願フニツノ終リニ名付ラレタル格ヲ屈曲ニ向テ見ハス事ノ爲
ニ於テ願フ如何トナレハ呼格カ夫ハ話シカケニ於テ用ヒラル故ニ我ニソフテイウモ主
格則第一格ト一致セシ故ニ而彼ノ奪格カ我ノ國詞ニ於テイウテモ前置詞ノ

助ニ因テ言ハセサル故ニ 彼ノ分テ共ニ我カ都合ヨク及彼ノ格ノ名付
指シヤラズル夫ノ正シキトナレト 此外ニ少ナカラス目ヲ有ルカ落ル所ノモノナリ
第一格及第二格カ我ニ添テ又前置詞ノ助ケヲ以テ言ハサレソウ言フヨリモヨクカ
一ニナル 夫故ニ人カニス或テスエノエ子ル或テス事ノニス或テス詞ノ代リニ又
ハニエ子ル或ハニデニエノハニエ子ル或ハニデニエ子ル或ハニヘット詞ト謂フ
クニナル前置詞ヲ以テ等シキ言キハシカ人カ第三格ニ添テ用ヒ其所以ハ
難及中惟ノ詞ニ於テ第三格ニ添テ用ヒ其所以ハ難及中惟ノ詞ニ於テ第三格ニ添テ用フ
初ニ在アニエ子ル或デニエニアニエ子ル或デニエニアニエ子ル或ヘット國ニカ用立カ
ニ向テ人カ最初ノ場合ニ於テ又エ子ル或デニエニアニエ子ル或ヘット國ニカ用立カ
ノ言方ニ於テカシエ子ル或デニエニアニエ子ル或ヘット國ニカ用立カ
ノ言方ニ於テ全ク不備トナレト 國ノ用ヒカアル事ニ於テハ然ラバ
格ノ用カ又手短カ説明シテ望ム 第一格カ然ル時場所ヲ持ツ者人ヤ或事
一本立ニ及ノ有物ニ在テノ關係在ニ先ツ時然ル時場所ヲ持ツ文章ノ主ムル

多ノ屈曲ニ向テト云字ヤ等ニ冠詞カ受レバク有ル夫ハ多分我ノ実名詞ノ前
ニ置カレ所ノ冠詞ハ向テ受レバク有ル彼カ夫故ニ天ハ是時ニ於テ終リ
名付ラレタル者ニ願フ所ノ者ハ満ニ違スル而格ヲ指シ示ス其中ニ
名詞カ文章ノ結付ニ從テ見ハレハナラヌ所ノ格ヲ指シ示ス
夫ノ変化ノ上ニ実名詞ノ格ノ結付ニ於テ格ヲ有ル時人カ我ノ同格ニ於テ
格ヲ區別シ得ル夫レニ我カ好ニテ第一格第二格第三格及第四格ノ
名ヲ異ル所ヲ區別シ得ル通例人カ羅匈人ノ真似ニテ六ノ格區別
セシ而夫ヲ彼ノ例ニテ主格ゲニキス格ゲニキス使格ゲニキス呼格ゲニキス及奪格ト名
付レ然レカヲ羅匈人カ此ノ區別ニ向テ善キ道理ヲ持シ如何トナレハ彼
ノ実名詞カ實ニ六ノ屈曲ニ向テ受ラレバク有レ故ニ善キ道理ヲ持テ我
カ夫ニ及テテ勢カヲ願フニツノ終リニ名付ラレタル格ヲ屈曲ニ向テ見ハス事ノ爲
ニ於テ願フ如何トナレハ呼格カ夫ハ話シカケニ於テ用ヒラル故ニ我ニソフテイウモ主
格則第一格ト一致セシ故ニ而彼ノ奪格カ我ノ國詞ニ於テイウテモ前置詞ノ

助ニ因テ言ハセサル故ニ 彼ノ分テ共ニ我カ都合ヨク及彼ノ格ノ名付
指シヤラズル夫ノ正シキトナレト 此外ニ少ナカラス目ヲ有ルカ落ル所ノモノナリ
第一格及第二格カ我ニ添テ又前置詞ノ助ケヲ以テ言ハサレソウ言フヨリモヨクカ
一ニナル 夫故ニ人カニス或テスエノエ子ル或テス事ノニス或テス詞ノ代リニ又
ハニエ子ル或ハニデニエノハニエ子ル或ハニデニエ子ル或ハニヘット詞ト謂フ
クニナル前置詞ヲ以テ等シキ言キハシカ人カ第三格ニ添テ用ヒ其所以ハ
難及中惟ノ詞ニ於テ第三格ニ添テ用ヒ其所以ハ難及中惟ノ詞ニ於テ第三格ニ添テ用フ
初ニ在アニエ子ル或デニエニアニエ子ル或デニエニアニエ子ル或ヘット國ニカ用立カ
ニ向テ人カ最初ノ場合ニ於テ又エ子ル或デニエニアニエ子ル或ヘット國ニカ用立カ
ノ言方ニ於テカシエ子ル或デニエニアニエ子ル或ヘット國ニカ用立カ
ノ言方ニ於テ全ク不備トナレト 國ノ用ヒカアル事ニ於テハ然ラバ
格ノ用カ又手短カ説明シテ望ム 第一格カ然ル時場所ヲ持ツ者人ヤ或事
一本立ニ及ノ有物ニ在テノ關係在ニ先ツ時然ル時場所ヲ持ツ文章ノ主ムル

下ヲアテ見ハル、時云く有ん仕掛リ受ケ有ん有様アルアリヤ或スヲ書ハサル時
壁ハ父カ話ス、打タル、子供カ眠ル、百合カ白クアル、樹カ大キナル
同ニ格カ我ノ中ニ話ニ掛ケニ添ニ用ヒラル、則我ヲ信セヨ王ヨ、我ニ後テ聴ケヨ子
供ヨ

屏ニ格カ実名詞ノ互ニ近ノ関リ合ラ見ハス、ノ為ニ用立ツ而メ此用リ
夥ク有ん故ニ又是格ノ用ヒカ甚タ種ニ有ル、夫故ニ夫ノ働ク種ヲ言ハス
タヒトノ文、ホニアルノ歌ニ於テ言ハス、持主ヲ家ノ君王ノ宝ニ於テ言ハス受
ヤ或ウケテラヨボノ歎キヘララドノ性ニ於テ言ハス、夫是種ノ有ん者又属スル所
ノ種類ヤ或全サラ水ノ掬民ノ多サニ於テ言ハス而ノ夫ノ書典カ餘リ長ク落
テアラウ所ノ他ノ関リノ多サニ於テ言ハス

第三格カ取扱ノ目的ヤ或メドヲ言ハス、ノ為ニ用立、人カ其中ニ是ノ人ヤ或事
ヲ置ク夫ニ有者ヲ置ク世也或ハ奪ル、所ノ人ヤ事ヲ置ク夫ノ幸ニ近クノ要用ヤ
或ハ言ニ近有者カ出来ル所也則我カ汝ニ此書物ヲ與ヘル、彼ニ是ノ杖ヲ奪フ
我ニ滿ク、先生カ児供ニ彼ノ読物ヲ讀ラシメテ聽、道途カ彼ニ善

事ヲナシ、此旗カ我ニ痛ミノ多サヲ引起ス、又夫カ有キ事ヲ頭ス、
ノ為ニ用立、則ニリノ書生カ、カトリニ於テ有キ有ル
第四格カ夫ノ上ニ働詞ニ依テ言ハレタ、取扱ヲ直ニ行所ノ此物軒ノ見ハニ近用立、
男カ己ノ大ラウツ、先生カ書生ヲ教テ、徳カ彼ニ答、
其他前置詞カ我ノ國詞ニ於テ一般ニ第四格カ自不ノ跡ニ得ル

○冠詞ニ就テ

冠詞カ実名詞ノ前ニ置ル、而夫ニ依テ言ハサレタ、物體ノ或ハ極メ或不極メ
ノ為ニ用立、彼カ定ト及不定ニニ様ナリ、最初ノ者カ男性ヤ

及女性ニ向テテト響キ、而中性ニ向テヘット、響キ、第一ノ者カ男性及中性ニ向テ
エント響キ、而女性ニ向テエト子ト響ク

是ノ冠詞カスケテ要用ニ我ノ考ノ定メニ多ク、心ニキ、及ソメニ悉ク、
ル、ノ為ニ要用ニアル、是ニ我カ聲ハ我ニニハナラ、
一般ニ此食物ヲ持ツ、夫ハ人カハント名ル所ノ是食物ヲ持ツ、
我ニニエシ、ハニ又、云方ヲ以テハ、ハント名ル所ノ此食物ノ、分、方

我ニニエシ、ハニ又、云方ヲ以テハ、ハント名ル所ノ此食物ノ、分、方

二願フ或ハ大サ或ハ種類ヲ委リ極ムルニ至ラ願フ 我ニ於テハニラ思ヘヨト云時
其時我ニ極ツ極ノ分量ノ一ノ方ニ願フ而シテ種類ト及大サニ於テ既ニ知渡忍同

シ食物ノ分量ノ一ノ方ニ願フ 其他冠詞カ我ニカ以前既ニ目ヲ付シ通シニ其様ニ彼ノ実名詞ノ前ノ置キニ添テ

夫ノ性ヲ見ハス丁ノ為ニ用立而シ夫ノ曲ケノ不充分ヲヤハ充テテ用立 夫ノ説キ明ニシテ其事カ要用ニアルテアロフ冠詞ノ曲ケラ種ノ性ニ於テ書共ル丁ノ

其事カ要用ニアルテアロフ 此ノ書共ニ添テ我ニカ冠詞ヲ屢ニ実名詞カ
ラ誘ヒ行カ令ルテアロフ夫ニ依テ以前格ニ就テ言ヒ事ヲ共ニナル委リ受ル

テアロフ所ノモノナリ 夫ニ冠詞ノ曲ケノ例 実名詞ヲ以ノ云ク 単称ヤ及複称ニ向テ云ク 三性ニ於テ云ク
エニナル冠詞ニ皆同シ

○形容詞ニ就テ

形容詞ト此類カ名有ケラシ、夫ハ実名詞ニ依テ言出ス所ノ人ヤ或事ノ模様ヤ或

性質ヲ見ル所、此詞カ形容詞ト名有ケラシ則ウクニキ 洞明ナル 愛ラニキ等而シテ

此ノ目的ニ迄 実名詞ニ添テ加ヘラル所ノ此詞カ云ク 壁ハ麗キ花洞明ナル水 愛ラニキ

彼カ別根元アル則大ナル小サキ狭キ艶シキ廣キ善キ悪キ等、或ハ導キ及組立ニ依

テ形造ラレテアル則導キ結構ナル善良ナル情慾ナル温良ナル

導キレタル形容詞ニ迄又介詞カ属スル夫ハ働詞カラ己ノ根元ヲ持ツ所ノ介詞カ属スル則

愛スル及愛セラセラ 愛スルカラ導キレタル導キレタル歌フ歌ハタル歌フカラ

彼自其餘ノ形容詞カ実名詞ニ添テ加ヘル、壁ハ愛スル母 愛セシ娘 導キレタル

導キレタル男 歌フ鳥 歌ハタル歌 導キレタル組立タル形容詞ノ導キレタル 諸尾カハルイフ、リイキ、マス、サム、アフキ、及

名詞ニ添テ加ヘラル時 則シテ 實ナルニキ 頭心ニキ 然シカラ及身ノ意味ヲ
持ツ 若彼ノ働詞ノ意味ヲ金ニタル 部分ノ跡ニ来ルトキ則働詞ニキ

ルベキ 季言ハ夫ハ或ハ夫ハ食ハ得シラ得読シ得

イフ 尾カ有者ノ性質ヲ見ハシ 有物ニ在ノ傾ヲ見ハシ 速ニ注発スル

似ヤ似ト云字カラ分来ル 一イキニ 尾カ実名詞ヤ及形容詞ノ跡ニ加ヘラレ

詞ノ跡ニ加ヘラレ 最初ノ場合ニ於テハ夫ハ事ノ性質ヤ或體ヲ見ス 其神ノ

王ノ博キノ病ノ著キ 終リノ場合ニ於テハ夫ハ有物ヲナス一或ハ受ル一為ノ適

去カラ生シタル 一ロスニ 尾カ奪ヤ取 失ヲ知ラシムル 而実名詞ノ跡ニ来ルトキ 則

有徳ナル 要全ナル 愛ナル等 働詞ノ意味ヲ含ム部分ニ添テ加ヘ 時夫ハ有

物ニ在ノ適 當中 孰カラ知ラシムル 則生長ナル 學 柔順ナル 各 苗ニ等

一フナフニ 尾カ夫ハ句調ヲ受テ取リ 或受取ラヌ 度ニ依テニ 様ノ意味ヲ持

一フ 最初ノ場合ニ於テ夫ハ持ツタケ夫レタケヲ 徴スル 則 働詞ヲ持ツ 住所ヲ持ツ 誠

ニキ一則一致ヲ言ハス 則土ノ様 詐ノ様 里キ様等 終リニハツニ 昔ノハアヘニカラ分来ル

テヤ或ハステル 尾ノ跡ニ依テ重ナル 教カラ又形容詞カ道守カハ 則 辨シ

ト云字ヨリモ 早ト云字ノ最上級ニ 終リニ各付ラレタル 尾 共ニ自介ラ見ハス 所ノ早ニ

フルト云字ノ最上級ニ 其處ニ又 艶シキ 善キ 悪キ 夫ハ 艶シク 有ル 善クアル

或ハ悪ク^所物ノ代リニ善キ^所物ノ代リニ悪キ^所物ノ代リニ善キ^所物ノ代リニ悪キ^所
並ニカ^所此ノ此ノ感^所應ノ勝^所レ^所此ノ此ノ感^所應ノ勝^所レ^所此ノ此ノ感^所應ノ勝^所レ^所
ノ感^所レ^所強キ^所ノ代リ^所或ハ^所勝^所レ^所此ノ感^所應^所或感^所レ^所強^所是ノ話^所ヲ持^所ツ^所物^所
代リ^所是^所ト云^所

形容詞ノ性教及曲ケニ就テ

形容詞カ実名詞ノバニソウ云ヨリモ実名詞ノ前ニ置レタル形容詞カ性ヤ教ヤ及
格ノ事ニ在^所夫ニ後テ自分ヲ位立ツル及ノ夫故ニ名ケラレ名格段ナ^所トニ持テ全ク夫
ト共ニ一致スル^所夫ヲ委ク説明ス^所ノ為ニ我^所カ此ニ有^所ん指^所示^所ニ近^所ノ例ヲ經^所カ合ムルテ
ア^所ラドノ様ニ形容カ実名詞^所以テ及ノ夫ノ冠詞^所以テ種^所ノ性ヤ及教^所ニ持テ曲^所ケ
ル^所歌^所ノ指^所示^所ニ近^所云^所
男性ノ例畧ス

其事カ要用ニ有^所テア^所ラ^所此ノ例^所以テ及^所有^所ん目付^所加^所ル^所ノ其事^所カ云^所エ^所ト云^所字^所ノ形
容詞ノ單稱ノ跡^所置^所ニ届^所ク目付^所ヲ云^所

女性ノ此事カ其中ニ句調善キ^所カ^所事^所様^所ナル者^所ヲ禁^所スル^所所^所ル^所場合^所ノ取扱^所ヲ以^所
テイツデモエ^所ト云^所字^所ヲ自分^所ノ跡^所ニ望^所ム

同^所ニ事^所カ男性^所ノキ^所ニ就^所テ適^所当^所ス^所ル^所差^所シ^所テ^所定^所冠^所詞^所カ或^所又^所キ^所ト^所セ^所ミ^所イ^所ニ^所等^所ノ
如^所キ^所ナル^所代^所名^所詞^所カ夫^所ノ前^所ニ来^所ル^所時^所或^所又^所差^所シ^所彼^所カ^所單^所ニ^所形容^所詞^所ヲ自分^所ノ前^所ニ持^所ツ^所時^所
則^所テ^所キ^所ト^所セ^所ミ^所イ^所ニ^所大^所ナル^所差^所者^所善^所キ^所友^所達^所願^所キ^所助^所言^所愛^所ラ^所シ^所キ^所友^所達^所直^所ウ^所キ^所兒
弟^所然^所シ^所ガ^所ラ^所差^所シ^所エ^所ニ^所来^所ル^所不^所定^所冠^所詞^所カ実^所名^所詞^所ノ前^所ニ来^所ル^所時^所此^所ニエ^所ト云^所字^所ノ置^所キ
ヤ^所或^所ハ取^所限^所ノ事^所ニ就^所テ我^所ト^所國^所詞^所ニ持^所テ^所密^所ナル^所區別^所カ場所^所ヲ持^所テ夫^所又^所我^所
カ^所当^所時^所彼^所ノ性^所質^所ヤ^所持^所テ^所ヤ^所ニ^所委^所ク^所見^所テ^所テ^所フ^所

一^所般^所ニエ^所テ^所ル^所冠^所詞^所ヲ以^所テ^所ノ男性^所ノ実^所名^所詞^所ニ置^所レ^所タル^所形容^所詞^所カエ^所ト云^所字^所ヲ取^所限^所ス^所
敷^所業^所老^所老^所僕^所目^所サ^所キ^所大^所勉^所強^所ス^所ル^所差^所者^所此^所ノ規^所則^所ノ上^所ニ^所カ^所シ^所テ^所取^所限^所カ^所場^所所^所
ヲ持^所ツ^所差^所シ^所実^所名^所詞^所カ夫^所ハ人^所ヲ有^所ル^所勤^所ヤ^所支^所配^所ヤ^所官^所職^所ト^所及^所ノ夫^所ハ^所餘^所計^所ナル^所所^所
ノ諸^所事^所ニ^所持^所テ^所差^所シ^所ル^所冠^所詞^所以^所形容^所詞^所ヲ自分^所ノ前^所ニ持^所テ^所或^所又^所セ^所イ^所ケ^所ル^所ト^所云^所
メ^所ニ^所ハ^所ル^所詞^所ノ形容^所詞^所ヲ自分^所ノ前^所ニ持^所ツ^所時^所取^所扱^所カ^所場^所所^所ヲ持^所テ^所直^所ウ^所キ^所者^所ト^所云^所

人ノ模様見ハナシカシカラ見ハナシカシカラ見ハナシカシカラ
 形容詞ヲ自持シテ云々
 夫故ニ善キ王ト云フカ或人ヲ徴スル夫ハ王ト云フ善
 クアル所ノ或人ヲ云々大ナル画師ト云フカ或人ヲ徴スル夫ハ画師ト云フ大家ナル所
 ノ云々親切ナル僕ト云フカ或人ヲ徴スル夫ハ僕ト云フテ親切ニナル所ノ云々強キ飛
 脚ト云フカ或人ヲ徴スル夫ハ強ク走ル所ノ云々押柄ト云フカ或人ヲ徴スル夫ハ
 友ト云フテ押柄ナル所ノ云々此ノ規則ニ違夫ハ官人勤テ支配テ或ハ僕ヲ見
 る所ノアラユル詞カ属スルノミナラス尚又男ヤ及人ト云フカ属スル則有徳ナル男善
 良ナル人並ニ區別ナシニ夫ハリニグノ上ニ終ル所ノアラユル詞カ属スル則勉強スル若
 者愛ラシキ人若シ夫ニ及ミテ形容詞カケ様ナ者トシテ人ノ模様ヲ言出ス
 時其中ニ彼カ見ハル種メヤ官爵等ノ模様ヲ言出サ又時夫ハ左ナク共前ニ定
 メラレタル詞ノ一ニフ者トノノ結付ニ添テエト云字ヲ取ル則善キ王ニ委ク言
 ハハ王セ夫ハ善キ心ヲ持ツ所ノ王也強キ飛脚也夫ハ體ニ就テ強ク有ル所ノ飛
 脚也大ナル画師ニ委ク言ハ画師ニ夫ハ躰ニ就テ大ニク有ル所ノ画師也而彼

場合ニ於テモ左様ナリ

中世ノ事ニ就テカ目ヲ付ケラレ手ハナラヌニナル冠詞ヲ以テ自分前ニ来ル形容
 詞或又冠詞トシ此性ノ実名詞ニ添テ来ル形容詞カエト云字ヲモカイト取退ル
 然トカ云々則大ナル物空ラ色ナル羅紗等 同ニ取退カ場所ヲ持ツエニセー
 ケルメトニ或又トニエウセイニラスハルヒニノ如キ物主代名詞カ先ツ時場所ヲ
 持ツ則一ニノ願フベキ物有ル尊ベキ家我ニノルニノ愛ラシキ見共等
 定冠並指示代名詞カ再エト云字ヲ へトトチツト或タト愛ラシキ見共へトトチツ
 ト或タト強キ馬子ト云フハ同ニ場所ヲ持ツ
 又此ニダトカ目付然ル要ル句調善キカ時トシテエト云字ノ跡加ラ禁スルハト
 夫ニフニハ因詞ノ規則カ夫ヲ然ラサレバ望ムデモアロフ所ニ 夫故ニ人カニケ敷
 課ト云フエカシナカラケ敷日課ト云ハ又夫ノ終リノ場合ニ於テエト云字動句善
 下ノ為ニ取扱ケラレ所ニ 並ニ人カ勝レル業高ニツル決定気付時持ツ
 時トシテ人ト云フ字ヲ善場合ニ役テ取退ケ得或付加ヘ得則殘ル詩或殘ル詩

又此ニダトカ目付然ル要ル句調善キカ時トシテエト云字ノ跡加ラ禁スルハト
 夫ニフニハ因詞ノ規則カ夫ヲ然ラサレバ望ムデモアロフ所ニ 夫故ニ人カニケ敷
 課ト云フエカシナカラケ敷日課ト云ハ又夫ノ終リノ場合ニ於テエト云字動句善
 下ノ為ニ取扱ケラレ所ニ 並ニ人カ勝レル業高ニツル決定気付時持ツ
 時トシテ人ト云フ字ヲ善場合ニ役テ取退ケ得或付加ヘ得則殘ル詩或殘ル詩

其 其他二ノ形容詞カ夫ハ彼ノ性カラモ曲ケテ受ルベク又所ノ二ノ性
ヨリニ造リ出サレシモノカ夫ハレイ及ハシテノ上ニ終ル所ニ則テ種ノ人種ノ性
善物等 第二ニ千カカ夫ハ物ノ質ヲ見ス所及此譯カラ物質様ノ形容
詞ト名付ラル所ノ千カカ 則テ録ノ皿銀ノ徳利木ノニホシニル凡ノ凡ノ
衣履木綿ノヒノ等 第三ニ千カカ 夫ハ町ノ名カラ出テ有ル所及上
上ニ終ル所ノ千カカ 云則テスル人ノ無頭ハリニゲルノ商人ストアートビルゲンノカ
キ煙草一等

終リニ形容詞ノ曲ケニ就テ從タツトカ目ヲ付ラレバ上又実名詞ノ場所ヲ覆フ彼
ガ複稱ニ於テサツトモ此ノ通則ニ依リて曲ケラルト云々ト云 夫故ニ人カ此世界ノ勢
強キ人及大志人ト云ニテ及ニテトハ言ハヌ 並又或人カ此ノ説ハ者デア他ノ人カ
及對シタル説ノ者デアハ 然レテカラ單稱ニ於テハ未ダ一様ニシツカイト決定
セテハ而人カ夫故ニ聲ハプロメガプロメノ或ハプロメニハプロメニ或ハプロメニハプロメト
申シヲ以テ善トスル

比較ノ階級

形容詞カ又比較ノ階級ヲ持ツ 人カ夫ヲ用エ差シ人カニツノ物體ヲ有ル模様ノ息
ト就テ互ト様ト思フ時及子カ他ノ者ヲ打越テ高メヤウト思時並ニ人
カ物體ヲ此ノ事ニ就テ多シ物ヲ打越ヘ或又同種ノアラユル物體ヲ打越ヘテ高
用エ様ト思フ時此ノ階級カ大階級及最上階級ノ各ヲ負フ 最初ノ者カ元ト云
字ノ語尾ヲ形容詞ノ依リテ形造ラレ、夫ニ添テ時トシテ句調善クノ
為ニ又ト云字ト云テ、則ヨリモ大ナル大ナルカラヨリモ高キ高キカラヨリモ廣
キ廣キカラヨリモ重キ重キカラ 第二ノ者則最上級カステト云字ヲ形容詞ノ依リ
テ依リテ形造ラレ、則最上級カ大ナル大ナルカラ最勢強ニ勢強キカラ等

此ノ階級ヲ其他ノ物カ 廣キ様ト思フハ有ル模様ノ事ニ
種類ノ多ク者カ夫ノ前ニアル此ト云字ヲ置ク則至極高キ至極愛ラキ等

様ト思フ 夫ノ前ニアル此ト云字ヲ置ク則至極高キ至極愛ラキ等
言レタルノ味ト云テ、明ニ遠次ノ例カ用立得ル 徒康カ等ミヨリモ大ナル字

形受階級カ和蘭イロコシ最上階級イロコシに於て他階級イロコシより受へる形受階級イロコシは、
ル而レ之レ所レ添レ同レ規則レヲツケ、只大階級イロコシ添テ多分長キ詞ニ於テ句調善ク
ノ為ニ曲カ他所レ添レモ多ク取退ラレ、則何デモ精神ノ上ニ高ニラズル感ジラナク、
我レカ決レテ堪レユベカラザル押柄イロコシ出逢レナク、

又分詞カ前ニ定メラレシム比較ノ階級ノ異ハシニ迄エル及ステト云字ヲ取ル則ヨリモ入リ
必最入リ込ム入リ込ムカラヨリモ善話ス最善話ス善話スカラヨリモ学レタル最
学レタル学レタルカラヨリモ十分分最上階級イロコシ十分分カラ等、ソニ然レニカテ取分テ
仕掛リノ分詞ノ大階級イロコシ添テ曲カ及他所レヨリモ多ク句調善キトニ依テ曲カ
多ハ分詞カ
然レニカテ及夫ハ彼ノ意味ノ大ニ向テ受へル有ル所名者ト謂ハレ上ニ名付ラレ
心諾尾ヲ取ラヌ、夫故ニ此ノ用ヒ人カヨリモ受へスル最モ受へスル受へスルカラ等ヨリ
モ受へスル最モ受へスル受へスルカラ形造ト云ハレヲ思ハヌ及多ノ他ノ者ニ於テ

在様ナリ、同レ場合ニ於テ人カマイルト云字ヲ大階級ノ見ハシニ迄及メイステト云字
ヲ最上級ノ見ハシニ迄用ヒ夫ノ書き廻シヲ人カ時トシテ及詞添テ用ヒ夫ノ用ヒカ
厚名付レカハ諾尾ヲ取退又所ノ詞ニ添テ云、
組立タル形容詞ニ添テ只ニ組立ノ終リノ節カ太メノ諾尾ヲ自分ノ跡ニ取ル則ヨリモ
惠レニ深キ最惠レニ深キ惠深カラヨリモ押柄ナル最押柄ナル押柄ナルカラ、人カ夫ラ
又ヨリモ善ノ高ノ最モ善ノ高フト言ヘ及書ケ善高カラ或分思フ通りニ左様ニ
善高ノ最高フト言ナ書ナ

○教詞ニ就テ
教詞カアル者ノ分量ヲ見ハスノ為ニ用立ツ、彼カ或ハ定教或不定教ヲ言出ス而
夫ト共ニ致シテ定教詞及一般教詞ニ於テ分タル、
定教詞ナル夫ハ重キ教詞則原教詞ヲ見ハス所ノ定教詞好ク則一ニ三ニ十
二十百等、夫ハ一部分ノ原教詞イロコシ或サナクモ夫トサレ得ル則一ニ三ニ四ニ五等、一部
分ノ原教詞イロコシ好ク則二十ニ三十ニ等、夫ハ上ニ名付ラレタル詞ノキヲ尾ノ跡加フ
以テ分ルル所ナリ、一部分ノ終リニ組立タル教詞イロコシ好ク則十ニ十二ニ十三ニ十四ニ

以テ分ルル所ナリ、一部分ノ終リニ組立タル教詞イロコシ好ク則十ニ十二ニ十三ニ十四ニ